

日本産業衛生学会

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒602-8048 京都市上京区下立売通
小川東入ル
中西印刷株式会社（日本産業衛生学会
近畿地方会事務局支局）
発行責任者・中西一郎（地方会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第68回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催とさせていただきます

近畿地方会長 中西 一郎

平素は学会運営にご協力賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受けて地方会幹事で検討しました結果、6月6日に予定しておりました第68回日本産業衛生学会近畿地方会総会は書面開催に、学術講演会につきましては中止とさせていただきますました。なにとぞご了承のほどお願いいたします。

総会の書面開催につきましては、第1号から第5号議案を本ニュースの該当ページでご確認の上、同封の議決権行使書に賛否をご記入のうえ返送ください。

- 第1号議案 2019年度近畿地方会事業報告（3頁）
- 第2号議案 2019年度決算報告（2頁）＊1
- 第3号議案 2019年度監査報告と監査意見（5頁）
- 第4号議案 2020年度事業計画案（5頁）
- 第5号議案 2020年度予算案（2頁）＊2

なお、議案に「否」をつけられた方はご質問・ご意見をお願いします。本ニュース（11頁）下部のFAX用のあて名欄をコピーしてご活用ください。FAX 06-7632-4070へ、もしくは kinki_kaicho@yahoo.co.jp に5月末日までにお送りください。幹事会で検討し返答させていただきます。

＊1 決算について補足します。収入の部では第27回日本産業ストレス学会の広報・協力に対して20万円の寄付金を頂戴しました。支出の部の事業費の研究会助成金

の予算10万円に対し決算5万円は職業性筋骨格障害研究会の開催が昨年度なかったため昨年の助成金を繰り延べし5万円の発生がなかったものです。委託費は消費税増税前に一旦委託費を清算、消費税増税後に残りの委託費を清算して節税をはかりましたのでかなりの悪い金額となっております。管理費の印刷製本費では封筒をまとめて印刷したために予算額を超過しました。

＊2 予算案について補足します。本予算は昨年11月に本部に提出しており、収入の部の「本部受け取り補助金」が想定より多かったことが予算に反映できておりません。支出の部では前の地方会ニュースでご案内しました通り、ニュースの発行を年2回に削減し事業費を削減しております。管理費が決算に比べて突出しているのは、今年は選挙の年であり、またニュースの発行を減じたため選挙関連の郵送費が発生することなどから、役員改選費80万円を予算建てしたためです。その他消費税増税分で例年の委託費が一部増額となっております。ご承知おきくださればと存じます。

■代議員の皆様へ

代議員会も書面開催といたします。代議員用の議決権行使書を同封いたします。総会の議決権行使書と併せて返送お願いいたします。

■幹事の皆様へ

web上の幹事会を開催いたします。別途案内いたします。

謹告

本年は地方会役員と理事候補者選挙の年です。7月末日までに2019年度、2020年度の日本産業衛生学会会費（1万円/年）を納入されていなければ選挙権、被選挙権が失効します。ご注意ください。

2019 年度近畿地方会収支報告および 2022 年度予算（案）

第 2 号議案、第 5 号議案

1. 収入の部

科 目	2019 年度予算額	2019 年度決算額	2020 年度予算額	決算額の備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	400,000	483,000	450,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	400,000	483,000	450,000	総会特別講演参加費、連携プロジェクト資料代
受取補助金等	1,650,000	1,977,542	1,600,000	
受取本部助成金	1,650,000	1,777,542	1,600,000	本部示達額－源泉徴収分
受取地方公共団体助成金		200,000		産業ストレス学会からの寄付
受取負担金	2,000,000	2,164,000	2,000,000	
受取活動費	2,000,000	2,164,000	2,000,000	2,000 円×1082 名
雑収益	30	352,995	30	
受取利息	30	23	30	
雑収益	0	352,972	0	第 59 回近畿産業衛生学会余剰金返金
経常収益計	4,050,030	4,977,537	4,050,030	

2. 支出の部

科 目	2019 年度予算額	2019 年度決算額	2020 年度予算額	決算額の備考
事業費	4,044,000	3,871,142	3,265,400	
臨時雇賃金	60,000	60,000	60,000	総会特別講演・シンポジウム受付
会場費	190,000	146,035	150,000	総会特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	20,000	12,844	20,000	
印刷製本費	160,000	168,495	170,000	総会出欠葉書、抄録、ニュース封筒印刷
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	10,000	1,680	5,000	
機関紙印刷費	600,000	575,520	290,400	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	0	0	0	地方会ニュース編集費
機関紙発送費	500,000	513,813	250,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	55,945	50,000	大学・部会・研究会の連携プロジェクト
諸謝金	100,000	80,000	100,000	総会特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	500,000	500,000	500,000	近畿産業衛生学会助成金
部会助成金	300,000	300,000	150,000	150,000 円×2 部会（技術部会は辞退）
研究会助成金	100,000	50,000	100,000	50,000 円×1 研究会
委託費	1,024,000	1,030,666	1,040,000	総会（16 万円）事務支局（870,666 円）委託費
開発保守費	370,000	370,000	370,000	HP 関連
雑 費	10,000	6,144	10,000	振込手数料等
管理費	832,600	808,337	1,526,000	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	250,000	191,632	150,000	
旅費交通費	75,000	61,900	75,000	
通信運搬費	45,000	50,151	45,000	総会・代議員会出欠はがき受取手数料
役員改選費	20,000	4,000	800,000	
印刷製本費	69,000	126,368	80,000	活動費振替用紙、封筒印刷費
消耗品費	1,000	874	1,000	
委託費	369,600	370,600	372,000	幹事会（24 万円）会員管理（130,600 円）委託費
雑 費	3,000	2,812	3,000	振込手数料等
経常費用計	4,876,600	4,679,479	4,791,400	
当期一般正味財産増減額	- 826,570	298,058	- 741,370	
一般正味財産期首残高	4,668,204	4,668,204	4,966,262	
一般正味財産期末残高	3,841,634	4,966,262	4,224,892	

2019 年度事業報告

第 1 号議案

1. 第 67 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：令和元年 6 月 8 日（土）13：00～17：00

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

I. 地方会総会（13：00～13：50）

II. 学術講演会

テーマ「障害者雇用を考える」

1) 特別講演（14：00～15：30）

「改正 障害者雇用促進法について」

座長：井上幸紀（大阪市立大学大学院医学研究
科神経精神医学）

演者：中塚 毅（大阪労働局障害者雇用担当）

2) シンポジウム（15：30～17：00）

「よりよい障害者雇用を行うために」

座長：伊藤正人（パナソニック健保 健康管理
センター）

村田理恵（一般財団法人京都工場保健会）

雇用者の立場から：

酒井直人（クボタワークス(株)）

保健師の立場から：

米山貴子（オムロンエキスパートリンク
(株)）

産業医の立場から：

黒木和志郎（パナソニック(株) CNS 社北
門真健康管理室）

精神科嘱託産業医の立場から：

出口裕彦（大阪市立大学大学院医学研究
科神経精神医学）

参加者：164 名

2. 第 59 回近畿産業衛生学会

日時：令和元年 11 月 9 日（土）

場所：立命館大学朱雀キャンパス（ランチョンセミ
ナーのみ京都府医師会館）

学会長：森口次郎（一般財団法人京都工場保健会）

メインテーマ：「産業保健職のキャリアを考える～私
たちの未来予想図～」

(1) 一般講演

(2) 教育講演

「「プロスポーツの社会貢献」—今日の社会とス
ポーツ—」座長：片桐陽子（栄仁会 京都駅前メンタルクリ
ニック）演者：種子田穰（立命館大学 スポーツ健康科学
部）

(3) ランチョンセミナー

「プレゼンティーズム軽減に向けた個人的アプ
ローチー腰痛・メンタルヘルスを含む包括的対
策—」

座長：大塚創平（株式会社 村田製作所）

演者：松平 浩（東京大学医学部附属病院 22
世紀医療センター運動器疼
痛メディカルリサーチ&マ
ネジメント講座）

(4) 基調講演

「我が国の産業保健プロフェッショナルの育成
システム—これまでと今後—」

座長：森口次郎（一般財団法人京都工場保健会）

演者：森 晃爾（産業医科大学 産業生態科学研

究所産業保健経営学）

(5) シンポジウム

『「よりよい産業保健サービスをめざして」～専
門性向上と連携強化～』

座長：山田達治（京セラ株式会社）

今川かおる（オムロンエキスパートリン
ク株式会社）演題：「産業看護職のキャリア形成について～
多職種との連携～」演者：津田由紀（パナソニック健康保険組合
健康管理センター）演題：「産業心理職としての過去・現在・未来
国家資格化に伴う役割・キャリア育成を
めぐって」

演者：森崎美奈子（京都文教大学）

演題：「産業技術職作業環境測定士—現状の課
題とこれから—」

演者：佐本 一（一般財団法人京都工場保健会）

演題：「嘱託産業医の資質向上に向けて
京都府医師会産業医部会と社会医学系
専門医制度京都プログラムの取り組み」演者：森口次郎（一般財団法人京都工場保健会）
参加者：315 名

3. 代議員会

第 1 回 2019 年 6 月 8 日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回 2019 年 11 月 9 日（土）

立命館大学朱雀キャンパス

4. 幹事会

第 1 回 2019 年 6 月 8 日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第 2 回 2019 年 9 月 5 日（木）

UMEDAI 会議室 大阪梅田

第 3 回 2019 年 11 月 9 日（土）

立命館大学朱雀キャンパス

第 4 回 2020 年 2 月 26 日（水）

阪急グランドビル 26 階 貸会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回（118 号～121 号）発行。
地方会ホームページを随時更新し、メールアドレス
の登録がある会員宛に研修案内を送るなど地方会会
員に迅速に情報を提供した。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 24 回近畿産業医部会研修会

日時：2019 年 9 月 28 日（土）

会場：エル・おおさか 南館

テーマ「就業と治療の両立支援について—現状
と問題点—」1) 基調講演「就業と治療の両立支援の現状と課
題」座長：伊藤正人（パナソニック健康保険組合
健康管理センター）講師：立石清一郎（産業医科大学両立支援科診
療科長）2) シンポジウム「事業場における事例報告及び
課題等」

座長：坂田晃一（川崎重工業株式会社兵庫工場健康推進センター）

シンポジスト：

専属・嘱託産業医の立場から：

西本真証（センクス産業医事務所）

産業看護職の立場から：

久米田知佳（日本製鉄（株）大阪支社）

両立支援コーディネーターの立場から：

平田直子（関西労災病院医療連携総合センター）

参加者：144名

(2) 幹事会：年2回

第1回幹事会 2019年9月29日（土）
エル・おおさか

第2回幹事会 2020年1月30日（木）
IDEAL CONFERENCE SPACE

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会

第1回

日時：2019年7月20日（土）

会場：ドーンセンター

① テーマ：働き方の変革期における産業保健の課題～産業看護職が果たす役割について～

講師：土肥誠太郎（三井化学（株）本社健康管理室長）

② テーマ：近畿地方会における産業看護部会の活動（歴史）と今後の活動に期待するもの

講師：大脇多美代（大阪産業保健総合支援センター・前、近畿産業看護部会長）

活動報告：「近畿産業看護部会活動報告～現在とこれから～」

鮫島真理子（近畿産業看護部会長）

参加者：80名

第2回

日時：2020年1月18日（土）

会場：エル・おおさか南館

テーマ：「産業看護職が知っておきたい組織論とAI：Appreciative Inquiry（組織開発）」

講師：北居 明（甲南大学経営学部教授）

懇談会「産業保健の最近の動向と産業看護職の役割」

ゲスト：五十嵐千代先生（日本産業衛生学会産業看護部会部会長）

参加者：59名

(2) 産業保健看護専門家制度登録者試験準備講座

日時：2019年10月20日（日）

会場：大阪市立住まい情報センター研修室

参加者数：24名

(3) 幹事会 4回開催（幹事会3回、リーダー幹事会1回）

2019年4月20日（土）

2019年7月20日（土）

2019年12月6日（金）

2020年1月18日（土）

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 産業衛生技術部会研修会

テーマ「うつ病の予防と治療について」

日時：2019年3月9日（土）

会場：新大阪丸ビル別館

・「うつ病の予防と治療～食事・運動などのライフスタイル改善を中心に～」

演者：功刀 浩（国立精神・神経医療研究センター）

座長：竹内靖人（中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター）

・「マインドフルネスによるうつ病予防」

演者：若井貴史（長岡ヘルスケアセンター）

座長：長見まき子（関西福祉科学大学健康福祉学部）

参加者：70名

(2) 総会

2019年11月9日（土）立命館大学朱雀キャンパス

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会

第1回

日時：2019年7月11日（木）

会場：エル・おおさか南館5階ホール

テーマ：「事例から知る「発達障がい者」への実際の対応」

第2回

日時：2019年11月20日（水）

会場：エル・おおさか南館5階ホール

テーマ：「事業再編の光と影ーメンタルヘルス活動はーサポートと言葉」

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

日時：2019年10月26日（土）

会場：草津市立市民交流プラザ 小会議室

内容：特別講演「頸肩腕障害研究会から作業関連性運動器障害への歩み」及び一般演題発表（6演題）

10. 第9回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

「職場の対人関係でのストレスと肥満との関連：仕事の量的負担での群別検討」

手塚一秀（大阪がん循環器病予防センター 循環器病予防部門）

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

第7回 研究室訪問

大阪大学大学院 医学研究科 環境医学（祖父江教授）

日時：2019年11月2日（土）

会場：大阪大学医学部 基礎研究棟9階 環境医学セミナー室

参加者：27名

第8回 研究室訪問

大阪市立大学大学院医学研究科産業医学教室（林教授）

日時：2020年2月18日（火）

会場：大阪市立大学医学部学舎14階 産業医学教室

参加者：17名

若手学会員活性化プロジェクト

「大阪城ウォーキング&ワールド・カフェ」

日時：2020年1月11日（土）

会場：大阪城公園（ウォーキング）、エル・おおさか本館（ワールド・カフェ）

参加者：ウォーキング11名、ワールド・カフェ13名

（本文中敬称略）

2020 年度事業計画 (案)

第 4 号議案

1. 第 68 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2020 年 6 月 6 日 (土)

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

I. 地方会総会 (書面開催)

II. 学術講演会

2. 第 60 回近畿産業衛生学会

日時：2020 年 10 月 3 日 (土)

場所：大阪府医師協同組合

学会長：岡田邦夫 (大阪ガス)

I. 一般講演

II. 特別講演

III. シンポジウム

3. 代議員会

第 1 回 2020 年 6 月 6 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室 (書面開催)

第 2 回 2020 年 10 月 3 日 (土)

大阪府医師協同組合

4. 幹事会

第 1 回 2020 年 6 月 6 日 (土)

大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室 (web 開催)

第 2 回 2020 年 8 月

大阪市内貸会議室

第 3 回 2020 年 10 月 3 日 (土)

大阪府医師協同組合

第 4 回 2021 年 2 月

大阪市内貸会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 2 回 (122 号～123 号) 発行予定。

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 25 回近畿産業医部会研修会

2020 年 9 月 26 日 (土)

テーマ：「メンタルヘルス対策のこれまでと、これから」

基調講演：産業医科大学精神保健学 廣 尚典 教授

(2) 幹事会：年 2 回を予定

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会：年 1 回開催 2020 年 9 月 5 日 (土)

(2) 産業保健看護専門家制度登録者試験準備講座開催 10 月予定

(2) 幹事会：年 3 回以上を予定

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 産業衛生技術部会研修会

(2) 総会：年 1 回を予定

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会：年 1 回開催予定

(2) 職業性筋骨格系障害研究会：年 1 回開催予定

10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

(1) 研究室訪問：年 1 回開催予定

(2) 若手学会員活性化のための研修会・勉強会等イベント：年 1 回開催予定

第 3 号議案

監査報告

私達は平成 31 年度の経理における近畿地方会の職務の遂行を監査するため、地方会長と事務局員から事業の報告を聞き、重要な経理関係書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて監査した結果、次の通り報告します。

1. 平成 31 年 3 月 1 日から令和 2 年 2 月 29 日までの収支報告書に記載された、平成 31 年事業年度の収支は適正に表示されているものと認めます。
2. 事務局の職務遂行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実の有無については、指摘すべき事実はなく、適切かつ効率的な職務遂行がなされたものと認めます。

以 上

公益社団法人 日本産業衛生学会
近畿地方会

令和 2 年 3 月 26 日

監事

廣 部 一 彦

令和 2 年 3 月 26 日

監事

鯨 島 真理子

監査意見

1. 費用が会計の勘定科目のどれに相当するかあいまいなものは本部に確認して対応すること。
2. 事務局の委託費が適切か何年かに 1 回程度、他社見積もりを取って確認すること。

2019 年度第 4 回幹事会議事録

日 時：令和 2 年 2 月 26 日 18：30～20：00

場 所：阪急グランドビル会議室

出 席：中西、井上、久保田、鈴木、西田、林、荒木、伊藤、岩根、上原、圓藤（吟）、圓藤（陽）、清原、祖父江、堤、長見、濱田、平田、藤岡、村田、森口、佐藤、鮫島

欠 席：河津、丸山、森岡、森山、岡田、廣部

1. 審議事項（中西会長）

- 1) 2019 年度事業報告（案）
- 2) 2019 年度決算報告（案）
- 3) 2020 年度事業計画（案）
- 4) 2020 年度予算（案）

1)～4) について中西会長より添付資料を用いて説明があった。2020 年度予算案では地方会ニュース 2 回に減らしなどして費用削減を図る。特に質疑なく了承された。

5) 選挙細則の改定と内規について

① 地方会長と監事の重複立候補禁止について

「ただし、同一人物は地方会長と監事の両方に立候補（推薦）できない。」を選挙細則に盛り込むか否かについて審議した。

選挙細則に上記の文言について盛り込むことで了承された。総会で報告する。

第 3 条 会長、代議員、監事選出の方法と定数

2. 会長、監事選挙については、立候補もしくは本人の承諾を得て推薦され、地方会選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。ただし、同一人物は地方会長と監事の両方に立候補（推薦）できない。

② 代議員当選者名簿の扱い

選挙の年の近畿産衛学会の際に開催される代議員会が新代議員で開催できるように、正式公開の 11 月 1 日までに代議員選挙結果を早く入手して出欠はがきを送付するための手続きについて、本部選挙管理委員会にも照会し、近畿地方会として以下の通りとする。

・選挙管理委員長は、代議員選挙開票日翌日までに近畿地方会長に代議員当選者名簿（会員番号と名前のみの名簿）を渡す。（電子媒体の場合はパスワードを設定すること。）同日に行う近畿地方会長・近畿地方会監事選挙結果の名簿管理も代議員選挙結果の名簿管理と同様に扱う。

・近畿地方会長は代議員当選者名簿をもとに（11 月 1 日より前に）速やかに近畿地方会ホームページで代議員当選者名簿を公開する。ただし、この名簿は日本産業衛生学会本部の確認作業が終了前であるため、代議員として確定ではないことを注釈として明記しておく。

・近畿地方会長・近畿地方会監事選挙結果も同様に近畿地方会ホームページで公開する。（会員のみに限定して公開する）

上記は地方会選挙に関する内規として明文化し引き継ぐ（ホームページにも掲載する）。なお、近畿産衛学会

が 11/1 より前になる場合は、同時に開催している代議員会は旧代議員で行う。

2. 報告事項

1) 大学・部会・研究会の連携プロジェクト（久保田理事）

2019 年 11 月 2 日に大阪大学環境医学（祖父江教授）、2020 年 2 月 18 日には大阪市立大学産業医学（林教授）にお世話になり、いずれも盛会におわった。2020 年 2 月 29 日に予定の奈良医大（佐伯教授）は延期とした。

2020 年 1 月 11 日に若手学会員活性化プロジェクト「大阪城ウォーキング&ワールド・カフェ」を行った。13 名（申し込み時は 16 名）の参加があり好評であった。次年度も秋頃に若い人を中心に集い開催予定である。参加者からの意見で、学会に理学療法士が参加しやすいように職種の枠を広げてもらいたいとの要望があった。本部のダイバーシティ委員会でも理事のほうから提案する旨の発言があった。その他にも配布資料で提案があり、引き続き検討していくこととした。

2) 第 60 回近畿産業衛生学会の進捗状況（濱田幹事）

2019 年 12 月にホームページを立ち上げ、運営事務は日本予防医学協会に委託する。テーマは「超高齢社会における産業保健」とした。シンポジウムは「超高齢社会の事後措置と保健指導」、「超高齢社会の疾病管理」、「超高齢社会の雇用」の 3 つ。他に「特別講演（超高齢社会の安全配慮義務）」、「会長講演」の他に「一般演題」は 9 演題を予定している。演題募集は 5 月 31 日締め切りとしてメールでアナウンス予定である。会場費の高騰などから参加費の値上げについて相談があり、幹事会で検討した結果、参加費（学会員）2000 円、参加費（非学会員）3000 円、学生 1000 円＋産業医単位希望者 3000 円とした。

3) 第 61 回近畿産業衛生学会の学会長（2021 年）の決定

伊藤正人先生（パナソニック健康保険組合）に決定した。会場は吹田市のパナソニックリゾート大阪を予定している。

4) 選挙管理委員会からの報告（佐藤選挙管理委員長）

来年度より地方会ニュース 7 月号は発行しないので、別途選挙に関する案内を郵送する。内容は、選挙細則、内規改定のお知らせ、電子投票で被選挙人を 1000 人以下にするための被選挙人名簿である。また、5) ②記載の当選者名簿を閲覧するための方法（パスワード等）も同封する。選挙管理委員会は会員名簿を持たないので、地方会長と連名で発送することを提案され了承された。発送と印刷は中西印刷に委託し適切な方法で郵送する。費用見積もりは議事録に添付する。8 月 15 日頃に本部からの確定した選挙人名簿が届いたら発送予定である。被選挙人については条件があり、令和元年度より正会員で 7 月 31 日までに学会費を完納し 10 月 31 日で 70 歳未満のもの。選挙人に関しては年齢制限はなし。

5) 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況（清原幹事）

年 2 回の発行となる。そのため、これまでの内容を HP に移管する計画。予告、報告事項を中心に掲載していく計画である。

以上

近畿産業看護部会研修会報告

2019年度 近畿産業看護部会
第2回定例研修会に参加してパナソニック液晶ディスプレイ
株式会社 姫路健康管理室

牛尾 順子



令和2年1月18日(土)に「産業看護職が知っておきたい組織論とAI * APPRECIATIVE INQUIRY (組織開発)」をテーマに、甲南大学経営学部教授 北居明先生の研修会に参加しました。

この研修は、組織とはいったいどういうものなのか組織論の基本と、その「組織」をよりよくするためのAI(組織開発)について学ぶことができました。

前半は、組織構造とモチベーションについてのお話でした。組織構造は指揮命令や意思決定やコミュニケーションなど目的に応じて組織設計されているとのこと。組織の数を増やせば管理人員が減るが上層部まで情報が増えにくくなる、また数を減らせば管理人員が増えるといったジレンマが生じること。ドイツのマックウェーバーが100年も前から「組織には最適がなく矛盾が生じるのは当然である」を前提としているという話が印象的でした。他、モチベーションを上げるための理論として「達成欲求理論」の話がありました。

後半では、個人や組織の強みと価値を最大限に生かすための組織開発の話がありました。

組織開発を行ううえで紹介されたのがAI(アプリシエイティブ・インクワイヤリー)です。これは組織の真価を肯定的な質問によって発見し可能性を拡張するプロセスです。このAIシステムを使ったワークを通じて自分のポジティブな強みや価値、未来にむけて新たな解決策を発見し希望を持つ機会となりました。今までの問いかけとは異なる「問い」の力で、内面への気づきがあったと感じました。今後、このAIをストレスチェック後の職場環境活動でも活用したいと思います。

今は環境の変化が激しく不確実で複雑性が増す時代です。対象者を取り巻く環境も日々変化しており、対象者を理解するには多岐にわたるアセスメントが必要不可欠となります。そこから対象者が所属している「組織」を理解することは、健康課題だけでなく経営課題も明確化することになり、解決策は対象者にとどまらず健康方針の策定や経営といったところにも関与することにつながり、産業看護職としての活動の幅も広がると感じました。今後も今回得た学びや気づきを生かしていきたいと思っています。このたびは貴重な機会をいただいたことに感謝致します。

産業看護部会からのお知らせ

以下の研修会等につきましては新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性がありますので、最新情報は産業看護部会ホームページ、近畿地方会産業看護部会ホームページでご確認ください。

○定例研修会のご案内

日時：2020年9月5日(土) 13:15~17:00 予定

会場：エルおおさか

内容：

講演会：「ストレスチェック集団分析結果の活用について」(仮題)

講師：川上憲人先生(東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野教授)

講演会終了後、川上憲人先生と五十嵐千代先生(日本産業衛生学会産業看護部会会長)による対談を予定しています。

定員：100名(先着順)

参加費(有料)：学会員 3,000円 部会員 1,000円

非会員 5,000円

詳細は7月初旬以降に近畿地方会ホームページでお知らせします。

多くの方のご参加をお待ちしています。

○産業看護部会本部研修等の開催予定

①第1回日本産業衛生学会産業看護部会学術集会

「産業保健看護の未来を創る～プロフェッショナルリズムの探求～」

会場：東京有明医療大学

会期：2020年6月14日(日) 9:00~16:30

チラシ：<http://sangyo-kango.org/wp/?p=937>

②【基礎研修Aコース】

「産業保健看護専門家登録者試験」合格者向けの集中研修「基礎研修Aコース・Bコース」は合計50単位取得できる研修です。本年は東京オリンピック開催予定だったため初めての大阪開催となっています。新人研修、学び直し研修等としても受講可能です。

日時：2020年8月27日(木)~29日(土)

会場：エル・おおさか本館5階 視聴覚室

③「登録者認定試験準備講座」(大阪：10月予定)

2021年1月に開催される産業保健看護専門家制度の「登録者試験」を受験される方のための準備講座です。「登録者試験」は保健師国家試験レベルの出題となり広範囲のため、登録者試験を受験予定の方は自己学習に活用ください。

講義内容：公衆衛生看護学全般

開催場所：東京・名古屋・大阪・福岡

産業看護部会本部研修等①②③の詳細、申し込み方法は産業看護部会ホームページでご確認ください。

産業看護部会 HP：<http://sangyo-kango.org/wp/>

近畿産業衛生学会産業看護部会 HP：

<https://jsoh-kinki.jp/kinki-002/>

近畿地方会 若手学会員活性化プロジェクト 「大阪城ウォーキング&ワールド・カフェ」開催報告

日本製鉄（株）関西製鉄所／（一財）NS メディカル・ヘルスケアサービス 岩根 幹能

1. はじめに

2017年に「大学・部会・研究会の連携プロジェクト」が発足し、研究室訪問が始まりました。筆者も数回参加しましたが、少人数ならではの近しい雰囲気ディスカッションし、研究のエッセンスに触れ、人的交流もできて大変有意義な会でした。2月29日に予定されていた第9回奈良医大疫学・予防医学講座（佐伯圭吾教授）への訪問は新型コロナウイルスの影響で延期になりましたが、開催される際にはぜひご参加ください。本当にお勧めです。

しかしながら、研究室訪問は若手の参加が少ない傾向がありました。そこで浮上したのが「若手学会員活性化プロジェクト」です。学会発表ができる若手学会員の育成、一般演題数増加という目標を掲げて2019年7月に発足しました。過去にとらわれず近畿らしさを前面に出して「大阪城ウォーキング&ワールド・カフェ（全国初のこころみ！知らんけど。）」を企画しました。「学会ってなんとなく難しそう」「発表なんてムリ」という若手の思いを引き出そうとするものです。

2. 開催当日は・・・

(1) 大阪城ウォーキング

1月11日は快晴、気温12℃と太陽の暖かさに恵まれ、参加者11人（+スタッフ4人）でウォーキングを楽しみました。今回、育児中学会員の参加を促すため、ワールド・カフェを含めて子供連れ参加OKとしました。2組の申し込みがあったものの、残念ながら2組とも直前キャンセルになりました。育児をしながらの学会参加の難しさが垣間見えました。

(2) ワールド・カフェ

ワールド・カフェ形式のディスカッションとは、特定のテーマに集中し、自他の意見が否定されず尊重される安全な場で意見交換します。4-5人単位の小グループで組み合わせを変えながら話し合いを続けることで、全体の一体感を共有できます。13人が参加し、「参加しやすい学会のあり方とは？」「学会発表をするために不足していることは？」というテーマで話し合いました。

今回、20代、30代5人ずつ合わせて76%と、狙い通り若手が参加してくれました。職種は医師5人（うち産業医4人）、保健師3人、心理職1人、衛生管理者1人、大学生2人、大学院生3人、理学療法士2名（複数回答あり）でした。また、学会員以外が3人含まれていました。

3. ワールド・カフェ 意見のとりまとめ

(1) 「参加しやすい学会のあり方とは？」

- ・交通の便が良い（交通費が安い）場所で開催してほしい。
- ・オンライン（WEB）参加可能にし、その場合は参加費を安くしてほしい。
- ・YouTubeで過去の講演視聴を可能にしてはどうか。
- ・学会年会費を職種により安価にしてほしい。
- ・託児所利用の補助をお願いしたい。
- ・ワールド・カフェ、事例検討会など、聴くだけでなく参加型セッションを増やしてほしい。
- ・SNSを通して、情報を受けるだけでなく発信できる体制を作してほしい。
- ・初心者セッションを作してほしい。
- ・理学療法士、作業療法士など、幅広い職種を受け入れてほしい。

大阪城ウォーキング



ワールド・カフェ



若手が多いことから、コスト面の要望が多くみられました。個人的な意見ですが、参加費、交通・宿泊費が安いという意味では地方会の充実が適すると思います。育児中学会員も参加しやすいでしょう。また、参加型セッション希望が多かったことを踏まえると、例えば「滋賀県会」のような細分化した形は参加型になりやすく、人脈づくりにつながると思います。姫路市のような企業数の割に学会員数が少なめの地域活性化も期待できるのではないのでしょうか。

残念ながら第93回日本産業衛生学会（旭川）は現地開催がなくなりますが、史上初のWEB開催です。交通・宿泊費が不要で参加しやすくなった方もおられると思います。映像記録が残るため、評判が良いセッションは再生回数が・・・ということになるのかもしれませんが。

今回、理学療法士、作業療法士の方が参加され、転倒災害防止や腰痛対策などで産業保健に関わっておられました。これら職種名が選択肢にないと、学会参加を躊躇してしまうとのことでした。たしかに、現時点で本学会の入会申込書には選択肢がなく（心理職も）、その他欄しかありません。改善できると思います。

(2)「学会発表をするために不足していることは？」

- ・学会主導で企業と大学のマッチングをしてほしい。
 - －企業はデータ解析して欲しい、大学はデータが欲しい。
 - －複数企業のデータをまとめて大学名が前面に出ることで、企業がデータを出しやすくなる。
- ・研究支援センターを設置し、研究に関する相談ができるようにしてほしい。
- ・無料統計ソフトの紹介や研修会の開催、学会発表に使えるツール紹介をしてほしい。
- ・学会発表に対する企業のインセンティブを設定してほしい。

分科会として「若手研究者の会」が存在しますし、日本循環器病予防学会のe-learningのような質の高い疫学・統計学のサイトも公開されています。学会内外の資源を幅広く利用し、その上でさらに必要な企画を考慮すべきかと思っています。企業と大学のマッチングについては本質的にどのくらいニーズがあり、実現可能性があるのかを検討する必要がありますと思いました。

4. アンケート自由記載結果

- ・普段の学会では他の参加者と話す機会が少ないが、本企画では他の職種も含めて横のつながりができた。
- ・自分が発表する機会は少なく緊張して臨んだが、やってみるとあっという間の2時間だった。
- ・苦手なことやわからないことを共有でき、同じ悩みを持っているとわかって励みになった。
- ・普段大学で研究していると産業保健の現場の声を聴くことがないので、貴重な機会だった。

5. おわりに

意見を大きくまとめると、学会として受け入れる職種の選択肢を広げること、距離が近くてコストがかからない参加手段も考慮されるべきこと、参加型セッションを広げること、ICT技術を取り入れていくことなどが示されたように思います。

今回の参加者数は多くはありませんでしたが、ある程度若手の意見を吸い出すことはできたと感じています。参加者にも好評で、13人中11人がまた参加したいとのことでした。できれば今年の秋に開催することを検討しています。

大学・部会・研究会の連携プロジェクト

第8回 大阪市立大学大学院医学研究科産業医学教室

第8回は2月18日夕方開催で、林教授からとても楽しい疫学の話をお聞きする事が出来た。教室にはスタッフ4名のもと、ドクター9年目以上の5名の大学院生が疫学研究と産業医学に励み活気に溢れていた。疫学研究で有名な教室で、文末に記載のような日本を代表する職域のコホート研究を中心に前向きコホート研究を継続しておられる。

約2時間にわたり、苦手だなあと敬遠しがちの統計についても非常にわかりやすく解説して下さった。人を対象とする観察研究の場合、第3の要因、特に交絡因子を考慮することは必須であり、交絡因子を考慮しないものの代表がt検定や χ^2 乗検定等で、産業保健分野では何年後かに（時間軸あり）病気（例えば高血圧症）を発症するか否かりスクを考えることがしばしばあり、こうした状況で活躍する多変量解析がロジスティック回帰分析かCox比例ハザードモデルであり、林教授はまずこの2つの統計手法から勉強することを薦めておられた。これは復職できるか否かのファクターを解析するものに

も使えるとのことであった。

林教授は、コホート研究は『最初の疫学研究としてのデザインが大切！どれだけオリジナリティーがあるか！』そして、『臨床、現場、を知っておくことが大切、統計はあくまでツール！』と熱く語ってくださった。前向きコホート研究は、社会貢献度が高く、ひいては日本を牽引する、教室の研究成果が世界を救う！なんと夢のある話であろうか。みなさんも2020年度コホート研究に一步踏み出してみませんか。

最後になりましたが、年度末で大変ご多忙の中熱心に講義賜り、深謝申し上げます。

教授おススメ本をご紹介；楽しい疫学、ロジスティック・Cox回帰入門（電子書籍）

代表的なコホート研究；

①The Osaka Health Survey ②The Kansai Healthcare Study ③The Japanese American Community Diabetes Study 是非ご一読ください。

文責 連携プロジェクト 浜田

会員の声



産業保健「道」

ピー・アンド・ジー(株)人事・健康管理室

橘 由香

看護・保健師の教育現場でキャリア開発の課程を「Career Ladder キャリアラダー」と英語をカタカナ表記しています。日本には専門性を究める際、「精神」と「技術」の鍛錬の課程を表現するのに「道（どう）」という言葉があり、私はこちらの表現が好きです。今回、私の産業保健「道」を紹介しつつ、自身の考える産業保健で必要とされる能力と継続学習の重要性を伝えることができれば幸いです。

産業保健の分野は、労働者の生産性の向上を通じて、経済発展と医療・介護費の削減が達成可能なため、企業に対して「健康経営」のニーズが高まっています。効率と利益を追求する企業は、産業保健師には即戦力を求め、医療の専門性を持ち、企業理念や経済的観点を理解しバランスの取れた判断ができる人材を必要としています。一方でそれを担う産業保健「道」は、他の看護職や行政の保健師と比較して未確立です。

ここからは、私の産業保健「道」について紹介します。大学病院の小児科を経験後、産業保健スタッフへ転職しました。病院勤務で培った「医学の知識」「傾聴し共感する」スキルは、産業保健でも役立ちましたが、「組織」を動かすため、「論理的」「説得力」のある分析力やコミュニケーション力は未熟でした。幸運にも、同業の先輩、人事からのコーチングや尊敬できる人に相談できる「メンター制度」を活用し、「道」は着実に進むことができました。しかし、10年経つ頃には「やりつくした感」と同時に自分の気づいていない「やり残し」はないか、産業保健を極めてみたいという思いが強くなり人生の振り返り地点で、修士の保健師課程で学び直すことにしました。学びに枯渇していた大学院の2年間は、貪欲に知識を吸収できる時間で、限界を超え挑戦したことで苦しい時間もありました。しかし、卒業証書と国家試験合格の達成感そして得られた知識や忍耐力は、今後の宝になりました。卒業後は、「やり残し」を産業の場で実践したいと考えております。そして、奢らず謙虚に積み上げた「道」を確立することが私の次の大きな目標です。

産業精神衛生研究会の紹介

「春の海 ひねもす のたり のたりかな」（与謝蕪村）の季節です。のんびりした江戸時代と比べれば、現代はまさに「激動の時代」。社会変動をまともに受けます産業領域は厳しい状況に置かれています。特に「メンタルヘルスヘルス」は厳しいです。研究会は私を含め、井上幸紀（大阪市大教授）、谷口智子（富士通産業医）、市口りえ（デサント保健師）、矢野敏昭（産業カウンセラー協会事務局長）が幹事で、事務局は協会関西支部に委託しています。

今年は以下のように開催します（地方会ホームページを参照してください）。

日 時：令和2年7月16日木曜日 午後6時半から9時まで

場 所：エル大阪南館5階ホール

後 援：関西産研、大阪産業保健総合支援センター

参加費：学会員 1,000 円、産業カウンセラーと関西産研
会員 1,500 円 その他 2,000 円（当日会場受付でお支払いください）

今回は「集団分析」がテーマだ



「ストレスチェック後の集団分析をめぐって」

座長 谷口裕紀（富士通関西健康管理センター、産業医）

講演 木村 隆（近畿健康管理センター、産業医）

講演 夏目 誠（KK 夏目こころのコンサルティング、精神科医）

総合討論

第25回産業医部会研修会のご案内

大阪市立大学神経精神医学教授の井上幸紀先生を実行委員長として下記のごとく、研修会を企画しております。今までの「職場のメンタルヘルス対策」の経緯と今後の展望について、産業医科大学の廣 尚典教授にご講演いただきます。その後、専属/嘱託産業医や精神科医にも登壇いただき、自由にディスカッション頂く予定です。ので、ふるってご参加下さい。

日時：2020年9月26日 14:00～17:10

会場：大阪市大医学部学舎（阿倍野）

テーマ：「メンタルヘルス対策のこれまでと、これから」

内容：特別講演講師：産業医科大学・産業生態科学研究所・精神保健学 廣 尚典教授

講演後、パネルディスカッションを予定（詳細未定）

受講料：日本産業衛生学会産業医部会員 無料

日本産業衛生学会産業医部会員以外で、認定産業医単位が必要でない方 2,000円

日本産業衛生学会産業医部会員以外で、認定産業医単位が必要ない方 4,000円

研修単位：日本医師会認定産業医 生涯研修（専門）3単位（申請予定）

産業衛生技術部会からのお知らせ

2020年度産業衛生技術部会研修会を2020年3月7日（土）13時30分～16時30分に新大阪丸ビル別館にて「ハラスメント予防教育につなげるアンガーマネジメント」をテーマに講師としてアンガーマネジメント協会の小山内優里子アンガーマネジメントファシリテーターおよびヘルスウェイブ株式会社の山崎昌子公認心理師を迎えて開催する予定でしたが、2月25日に新型コロナウイルス感染防止のための延期を表明致しました。その時点で出席希望者が約70名になっており、日本医師会認定産業医生涯研修（実地1.5単位・専門1.5単位）を兼ね

ていましたので、是非再開したいと考えております。新型コロナウイルス感染が収束しましたら、スケジュールを組み直し、地方会会員の皆様にご案内する予定ですので、暫くご猶予をお願い致します。

2020年度産業衛生技術部会総会を10月3日（土）に開催予定の第60回近畿産業衛生学会会場（大阪府医師協同組合会館）において開催予定です。会場や開催時間などの詳細はホームページおよび次号（123号）にて紹介いたします。

皆様、奮ってご参加宜しくお願い致します。

近畿産業衛生技術部会長 長見まき子

会員の異動（五十音順・敬称略）

〈新入会員〉

寺田 庄一	ウシオ電機（株）
金井 真希子	オリックス（株）
柴田 幹子	大阪市立大学大学院医学研究科 産業医学
山口 峻輔	全国健康保険協会奈良支部
田島 由佳	ロート製薬（株）
白井 恵	（株）クボタ 阪神工場
大石	（株）大垣書店 外商部
大谷 早紀	日本製鉄（株）製鋼所
康 秀男	大阪市立大学大学院 医学研究科
繪野 尚子	医療法人福命会 健康管理支援室
深津 悠梨	（株）平和堂
坂口 彩	大阪市立大学医学部附属病院 大学院医学研究科神経精神医学
上松 和彦	小阪産病院
水口 裕尊	京都大学宇治地区総合環境安全管理センター
清水 彰子	イトーキ健康保険組合
布施 佳世子	
今井 必生	大橋クリニック
大槻 章子	住友ゴム工業（株）
木村 千裕	川崎重工（株） 神戸工場
古川 恵理子	川崎重工業（株） 兵庫工場
嶋田 彩	和歌山県警察
岩倉 浩司	社会福祉法人近江ちいさな
山川 奈々	バンドー化学（株）

書面総会で議案に否を選択された方は5月末日までにご質問・ご意見をお送りください
以下をFAX用紙の頭の部分にコピーして使用ください。

FAX 送信状

宛先	近畿地方会長	06-7632-4070
発信者	ふりがな ご氏名 （ ）	会員番号 （ ）
ご質問・ご意見		

第60回近畿産業衛生学会のお知らせ(第一報)



大阪ガス株式会社人事部 Daigas
グループ健康開発センター／
特定非営利活動法人健康経営研究会

岡田 邦夫

ご参集各位が、本学会を存分に楽しまれることを祈念しております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日時：2020年10月3日(土)
2. 会場：大阪府医師協同組合
3. テーマ：超高齢社会における産業保健～Value Based Healthcare～
4. 内容(予定)
 - 1) 一般演題 優秀演題賞・若手奨励賞を表彰
演題申込み締切 5月29日(金)
ホームページから「演題申込用紙」をダウンロードして、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
 - 2) 会長講演 健康経営と健康投資
 - 3) 特別講演 あなたの会社大丈夫? - 超高齢社会の安全配慮義務
 - 4) シンポジウム1 あなたの会社大丈夫? - 超高齢社会の事後措置と保健指導
 - 5) シンポジウム2 あなたの会社大丈夫? - 超高齢社会の疾病
 - 6) シンポジウム3 あなたの会社大丈夫? - 超高齢社会の雇用
 - 7) ランチョンセミナー(予定)
 - 8) 企業展示・書籍販売
5. ホームページ：
<http://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-60/>
学会参加、学会発表に関する詳細はホームページをご参照ください。



6. 学会事務局

大阪市立大学大学院医学研究科 産業医学
TEL: 06-6645-3751 FAX: 06-6646-0722
E-mail: kinki60@med.osaka-cu.ac.jp

選挙管理委員会からのお知らせ

1) 本年度は近畿地方会役員(次期地方会長、次期監事、次期代議員)選挙および理事候補者選挙の年です。

メールアドレス・勤務先・自宅住所などの変更があれば、日本産業衛生学会ホームページ(<https://www.sanei.or.jp/>)に会員ログインし、コンテンツの【プロフィール変更】にて、最新のものに更新して下さい。

2) 選挙管理委員会からのお知らせ、選挙公告、選挙細則、代議員の被選挙人の推薦に関する名簿など選挙に関する案内を、6月末時点の地方会会員に対し7月に発送しますのでご確認ください。

本番の代議員電子投票選挙(9月下旬以降予定)に先立ち、代議員の被選挙人の推薦(電子登録)を7月～8月上旬に行います。被選挙人推薦は近畿地方会ホームページ上で行なっていただきます。本番の電子投票選挙は日本産業衛生学会ホームページ上で操作することになりますので、お間違えのないようご注意ください。

近畿地方会ホームページ(<https://jsoh-kinki.jp/>)上にも選挙公告、選挙細則など選挙関連記事を掲載いたしますので、適宜ご確認くださいようお願い申し上げます。

3) 本番の近畿地方会役員選挙については、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く名簿をもとに、該当会員に詳細な選挙案内を9月中旬(予定)に発送します。近畿地方会役員選挙は9月下旬以降に電子投票選挙で行います。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

選挙管理委員会

編集後記

新型コロナウイルス(COVID-19)による感染拡大に伴い、事業継続と安全配慮のバランスを考え、事業場における「健康危機管理」を整えていくことの重要性を改めて認識していると思います。そして、このような状況だからこそ、産業保健専門職は、積極的に労働者の健康管理に携わっていかねばならず、今何が必要なのか見極め必要な情報を先取りして取り組んでいくことが必要と考えています。

しかし、予定されていた学会や研修会等も延期や中止となり、様々な産業保健活動に関する情報も入手しにくくなっている中、今後の情報収集・情報提供のあり方も、直接研修会場に集合するのではなく、Web会議やネット配信

等の遠隔方式に変わっていき、産業保健活動の方法や健康課題も含め転換の時期にきているように感じています。

2020年度より地方会ニュースは年4回から年に2回となります。掲載できなかった記事はホームページや電子メール等でご案内していく予定ですのでメールアドレスのご登録をよろしくお願いします。

(村田理絵)

編集委員(50音順)

圓藤 陽子 清原 達也(代表幹事)
久保田昌詞(担当理事) 鈴木 純子(担当理事)
堤 梨恵 藤岡 滋典 村田 理絵(代表幹事)